

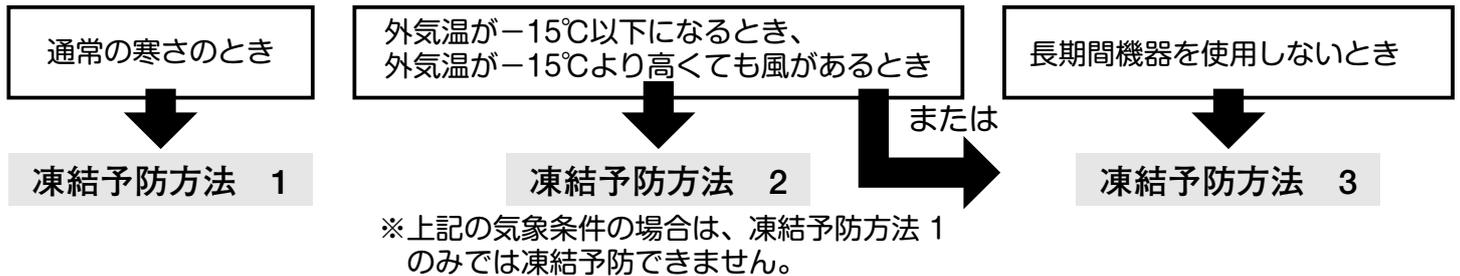
4.使用方法〈凍結予防〉

お願い

- 冬期は暖かい地域でも給水・給湯配管、ふろ配管の水が凍結して破損事故が起こることがあります。このような事故を予防するため、以下の必要な処置をおとりください。
- 凍結しているときは配管内の水が溶けてから使用してください。そのまま使用すると機器が破損するおそれがあります。
- 凍結による機器の修理は、保証期間内でも保証の対象外となります。

凍結時の症状

- 給湯栓から水が出ない、水の出が悪い…給湯配管の凍結
- ふろがわからない、循環しない…ふろ配管の凍結
- リモコンに「エラーU2」または「エラーU3」を表示する…ふろ配管の凍結



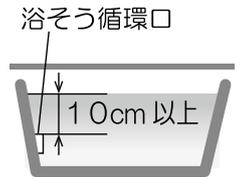
使用方法

凍結予防方法 1	凍結予防運転による方法
凍結予防ヒータで機内の凍結予防 + 循環ポンプを運転してふろ配管の凍結予防をおこないます。	

- ①電源プラグは、コンセントから抜かないでください。
 - 凍結するおそれのある外気温になると、機内に組み込まれたヒータで自動的に機内の凍結予防をおこないます。
- ②浴そうの循環口より10cm以上水を残しておきます。
 - 凍結するおそれのある外気温になると、自動的に浴そう内の水を循環させて、ふろ配管の凍結予防をおこないます。浴そう内に水がないと、循環ポンプが空運転し、大きな音の発生や故障の原因になります。



電源プラグは抜かない



浴そう循環口

10cm以上

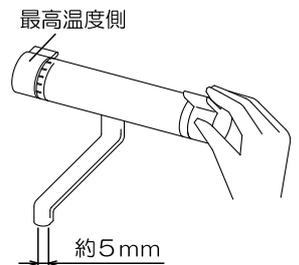
この方法は機内の凍結予防はできますが、機外の給水・給湯配管、ふろ配管の凍結予防はできませんので、必ず保温材やヒータで保温してください。また、機器や循環口との接続部についても露出していると凍結のおそれがありますので、必ず保温してください。

凍結予防方法 2	通水による方法
凍結予防ヒータで機内の凍結予防 + 循環ポンプを運転してふろ配管の凍結予防 + 通水操作によって凍結予防をおこないます。	

△注意

- 給湯栓がサーモ付混合水栓、シングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。やけどのおそれがあります。

- ①上記の「凍結予防方法1」をおこないます。
 - 電源プラグはコンセントから抜かないでください。
- ②リモコンの運転スイッチを「切」にします。
- ③給湯栓がサーモ付混合水栓、シングルレバー混合水栓の場合は、給湯栓のレバーを最高温度側にします。給湯側を開き、1分間に約400ccの水（太さ約5mm）を流したままにします。
 - 水の流量が不安定なことがありますので、約30分後に水の流量をもう一度確認してください。



最高温度側

約5mm

この方法は機内だけでなく、機外の給水・給湯配管、バルブ類の凍結予防もできます。ただし、機外のふろ配管の凍結予防はできませんので、必ず保温材やヒータで保温してください。また、機器や循環口との接続部についても露出していると凍結のおそれがありますので、必ず保温してください。

4.使用方法〈凍結予防〉〈長期間使用しないとき〉

凍結予防方法 3

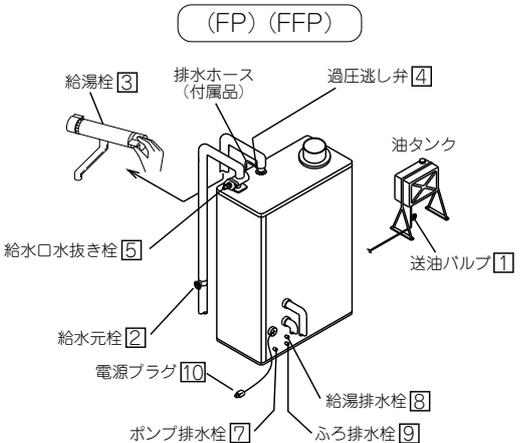
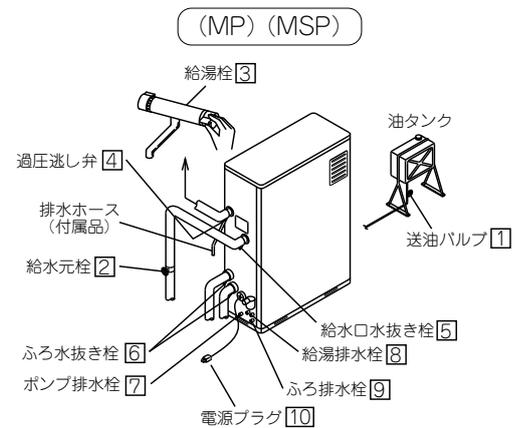
水抜きによる方法

機内配管とふろ配管のすべての水抜きをおこない、凍結予防をおこないます。

△注意

- 機器の使用直後は機内のお湯が高温になっていますので、必ず機器が冷えてから水抜きをおこなってください。やけどのおそれがあります。
- 浴そうに残り湯があるときは、必ず排水してから水抜きをおこなってください。排水しないと機内配管の水が抜けず、凍結により破損するおそれがあります。
- 過圧逃し弁、水抜き栓および排水栓をはずすと機器内の水が出ます。設置場所によっては容器で受けてください。
- はずした部品はなくさないでください。

- ①リモコンの運転スイッチを「切」にします。
- ②浴そうの水を排水し、油タンクの送油バルブ①、給水元栓②を閉めます。
- ③全ての給湯栓③を開きます。
 - 給湯栓がサーモ付混合水栓、シングルレバー混合水栓の場合は、給湯栓のレバーを最高温度側にします。
- ④過圧逃し弁④、給水口水抜き栓⑤をはずします。
- ⑤リモコンの運転スイッチが「切」の状態では浴室リモコンの優先スイッチを約5秒間押します。リモコン表示部に「F」が点灯し、循環ポンプを運転して配管内の水を浴そうへ排水します。
- ⑥約10分後、「F」の表示が消灯した後、ふろ水抜き栓⑥を2個ともはずします。(MP) (MSP) タイプ)
- ⑦給湯排水栓⑧、ふろ排水栓⑨ およびポンプ排水栓⑦すべてをはずします。
- ⑧電源プラグ⑩をコンセントから抜きます。



水抜き後、再使用するとき

△注意

- 給湯栓がサーモ付混合水栓、シングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。やけどのおそれがあります。

- ①全ての給湯栓③を閉めます。
- ②はずした過圧逃し弁、水抜き栓、排水栓すべてを取り付けます。
 - 右図を参照して、取り付け場所を間違えないでください。間違えると機器が正常に作動せず故障の原因となります。
 - 取り付け部が凍結している場合は、お湯をかけて解凍してから確実に取り付けてください。
- ③給水元栓②を開きます。
- ④すべての給湯栓③を開き、水が出ることを確認します。
 - 給湯栓がサーモ付混合水栓、シングルレバー混合水栓の場合は、給湯栓のレバーを最高温度側にしてから水が出ることを確認してください。また、確認後、やけど防止のために給湯栓のレバーを元の温度設定に戻してください。
- ⑤油タンクの送油バルブ①を開きます。
- ⑥電源プラグ⑩をコンセントに差し込みます。
- ⑦時刻設定をします。(→10ページ)
- ⑧循環ポンプへの呼び水のため、ふろぬるめ運転を1回おこなってください。(→20ページ)

長期間使用しないとき

長期間使用しないときは機器の水抜きをおこなってください。
上記の「凍結予防方法3」を参照してください。